

令和6年度 教育計画						学校番号 19	
松山市立垣生小学校							
校長名	濱石 一利	学級数	33 (6)	児童 生徒数	864	教職員数	44

(校訓)考える



めざす児童像

人を大切にする子

- 自分を大切にする子
- 自他の良さを大事にする子
- 互いに認め合い、助け合う子
- 笑顔で挨拶のできる子

正しく考える子

- 主体的に学習に取り組む子
- 楽しく俳句づくりに励む子
- 読書を楽しむ子
- 互いの歌声を響かせる子

粘り強くがんばる子

- 自他の生命を尊重できる子
- 決まりを守り、仲間とがんばる子
- 進んで健康な体をつくる子
- 夢や目標に向かって努力する子

めざす教職員像

- 人間性豊かな教職員
- 子どもとともに学ぶ教職員

めざす学校像

ごきげんな学校 (にこやかに安心して過ごせるところ)

(学校の教育目標)みんながごきげんな学校



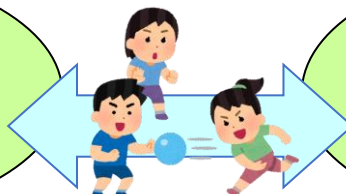
【児童の学びの充実につながる働き方改革の推進】

- PDCAサイクルを確立した学校評価の実施
- 学校・学年だよりやHPの充実
- 地域人材の支援体制の構築



家庭

生活の基礎を学ぶ場
やすらぎ応援団



地域

学びを広げる場
わくわく応援団

垣生小学校は、子どもたちの将来を見据え、家庭・地域とともに
「ふるさと『垣生』を大切にする子」
「予測困難な時代を強く生きていく子」を育てていきます。

<p style="text-align: center;">重 点 目 標</p>	<p>1 人を大切にする子を育む ～「人を大切にする力」を育てる～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自他を大切にする人権・同和教育の推進 ○ いじめや差別を許さない集団づくり ○ 一人ひとりを見つめる特別支援教育の充実 ○ 笑顔あふれる挨拶の推進 <p>2 正しく考える子を育む ～「自分の考えをもつ力」「自分を表現する力」を育てる～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ICTを適切に活用した授業力の強化 ○ 読書習慣の定着 ○ 俳句・ふるさと学習の継承・発展 ○ 互いの歌声を響かせる集団づくり <p>3 粘り強くがんばる子を育む ～「チャレンジする力」を育てる～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な生活習慣の定着と規律ある集団の確立 ○ 健康安全・防災教育の充実 ○ 体力づくりの励行と自己管理能力の育成 ○ 自己有用感の育成につながるキャリア教育の充実
<p style="text-align: center;">管 理 運 営</p>	<p>1 人的管理</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 互いの強みを生かす組織づくり (2) 組織力を生かした人材育成 (3) 働きやすさと働きがいの両立を目指す働き方改革の推進 <p>2 物的管理</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 実行性のある安全点検の実施 (2) 施設・設備・備品の計画的な整備と適切な管理、効果的な活用 (3) 非常変災対策の定期的な見直しと確認 <p>3 事務管理</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 適正な事務処理の徹底 (2) 情報管理の徹底と個人情報の保護 (3) 共同学校事務室を基盤とした組織的な運営
<p style="text-align: center;">本 校 教 育 の 特 色</p>	<p>本校は、松山市の西部に位置しており、今年度で創立135年目を迎える。本校区は、俳句の村上霽月や石田波郷、伊予かすりの鍵谷カナ等の優れた先人を輩出しており、それらを地域教材とした俳句学習やふるさと学習を重視している。また、地震や水害をはじめとした自然災害等に備えた安全教育にも、地域と連携して取り組んでいる。</p> <p>本校は、校訓「考える」と学校の教育目標「みんながごきげんな学校」を互いに補完させながら、家庭・地域と三位一体で信頼される学校づくりを推進するとともに、将来を見据えた「ふるさと垣生を大切にする子」「予測困難な時代を強く生きていく子」の育成を目指す。</p>